



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 兼 経理部部長 (氏名) 荒田 圭久 TEL 0774-46-7777  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,329	△1.3	298	△0.5	325	3.1	204	14.5
2019年3月期第3四半期	5,399	△5.8	299	△52.7	315	△57.8	178	△73.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 208百万円 (138.6%) 2019年3月期第3四半期 87百万円 (△88.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	32.42	—
2019年3月期第3四半期	28.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,139	13,987	86.5
2019年3月期	16,200	13,999	86.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,953百万円 2019年3月期 13,965百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,050	△1.4	390	4.7	400	2.6	240	9.7	37.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	6,992,000株	2019年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	669,882株	2019年3月期	669,882株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	6,322,118株	2019年3月期3Q	6,384,608株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、輸出が引き続き弱含む中、雇用・所得環境の改善などから緩やかな回復基調にはありますが、依然として力強さには欠けるものとなりました。また、世界経済においては、中国経済では製造業に下げ止まりの兆しが見られるものの、米中貿易摩擦や中東を巡る情勢など不確実性は高く、不透明感が残る状況です。

このような状況の中、当社グループにおいては、情勢の変化に迅速に対応すべく、研究開発に集中するための短期プロジェクト化、生産の合理化や設備の有効利用のための他社との協力など、新たな試みに挑戦しており、業界毎の色々な要因による需給バランスや環境規制などの影響を受けながらも、付加価値を持つ製品を生み出している分野では好調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,329百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は298百万円（同0.5%減）、経常利益は325百万円（同3.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は204百万円（同14.5%増）の減収増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (反応系製品)

反応系製品の中で繊維関係は、国内市場においては衣料用分野がさらに落ち込んだことから低調な動きとなりました。海外市場においても、韓国では市場の変化により売上が増加したものの、中国やインドネシア市場などが低迷し、繊維関係全体では前年同期を下回る結果となりました。

製紙印刷関係は、紙加工分野の落ち込みは続き、出版物・パッケージの減少から低迷、ダイレクトメール用圧着ニスとは昨年より動きはあったものの市場の減少傾向は見られ、全体としても前年同期を下回る結果となりました。

化粧品関係は、国内市場においてヘアセット関連が順調に動き、ヘアカラー分野、洗浄剤分野ともに新規採用による市場拡大から前年同期を大きく上回り、また海外市場においても好調に推移したことから、全体としても前年同期を大きく上回る結果となりました。

その他工業用分野について、水溶性ポリエステル樹脂の国内市場は、繊維向けは堅調に推移したものの主要分野であるフィルム向けが引き続き低迷し、前年同期を下回りました。海外市場は在庫調整が終了し売上回復、その他スポット的な受注もあり前年同期を大きく上回ったことから、ポリエステル樹脂全体としても前年同期を上回る結果となりました。転写関係は国内建築市場が持ち直し堅調に推移、海外市場は低調な状態が続く結果となりましたが、全体としては堅調な推移となりました。自動車関連は、従来関連製品については縮小の傾向となりましたが、次世代関連製品については堅調な推移となりました。メッキ関係は、国内市場の車載部品関連は低調な動きとなりましたが、海外プリント基板関連及び印刷用途については堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は4,597百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は814百万円（同14.5%増）となりました。

## (混合系製品)

混合系製品の中で電子部品関係は、国内市場においてアミューズメント関連が回復傾向にあり、LED用途は依然低迷しているものの、スマートフォン関連が買い替え需要により好調に推移したことなどから、前年同期を上回る結果となりました。

海外市場においては、他社低コスト製品の投入や、環境規制による顧客の稼働率低下により、低調な推移となりました。

その結果、当セグメントの売上高は732百万円（同9.8%減）、営業損失は75百万円（前年同期は営業損失150百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,139百万円と前連結会計年度末に比べ、60百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ104百万円減少し10,003百万円となりました。これは、現金及び預金が437百万円増加しましたが、有価証券が300百万円、商品及び製品が83百万円、原材料及び貯蔵品が65百万円、その他に含まれております未収消費税等が88百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ43百万円増加し6,136百万円となりました。これは、建物及び構築物が65百万円、機械装置及び運搬具が82百万円、繰延税金資産が44百万円それぞれ減少しましたが、投資有価証券が235百万円増加したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ16百万円減少し1,636百万円となりました。これは、未払法人税等が37百万円、その他に含まれております未払消費税等が90百万円、同じくその他に含まれております預り金が33百万円それぞれ増加しましたが、未払金が77百万円、賞与引当金が98百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ31百万円減少し515百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が35百万円減少したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ12百万円減少し13,987百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が23百万円増加しましたが、利益剰余金が16百万円、為替換算調整勘定が19百万円減少したこと等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から447百万円増加し1,695百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は704百万円（前年同期は減少64百万円）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益301百万円（前年同期比7.8%増）に対し、減価償却費269百万円（同5.1%減）及びたな卸資産の減少額120百万円（前年同期は増加額233百万円）、未払消費税等の増加額178百万円（同減少額91百万円）があったものの、賞与引当金の減少額98百万円（前年同期比22.8%減）及び未払金の減少額74百万円（前年同期は増加額7百万円）があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は29百万円（同増加256百万円）となりました。これは主として、有価証券の償還による収入300百万円（同一）及び有形固定資産の売却による収入26百万円（前年同期比311.9%増）がありましたが、投資有価証券の取得による支出210百万円（前年同期は支出7百万円）及び有形固定資産の取得による支出150百万円（前年同期比32.3%減）があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は221百万円（同60.0%減）となりました。これは、前期に支出した自己株式の取得による支出の減少（前年同期は支出額291百万円）及び配当金の支払額221百万円（前年同期比15.3%減）があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、第3四半期連結累計期間までの進捗度及び事業環境の変化を踏まえ、2019年5月14日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたします。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,600	380	430	310	49.03
今回修正予想(B)	7,050	390	400	240	37.96
増減額(B-A)	△550	10	△30	△70	—
増減率(%)	△7.2	2.6	△7.0	△22.6	—
(ご参考)前年実績 (2019年3月期)	7,150	372	389	218	34.34

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,028,343	6,466,257
受取手形及び売掛金	1,634,168	1,642,002
電子記録債権	335,508	349,277
有価証券	300,729	—
商品及び製品	803,332	719,547
仕掛品	299,134	324,567
原材料及び貯蔵品	519,664	454,403
その他	193,729	53,801
貸倒引当金	△7,051	△6,832
流動資産合計	10,107,559	10,003,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,591,840	4,491,786
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,204,388	△3,170,295
建物及び構築物 (純額)	1,387,452	1,321,491
機械装置及び運搬具	6,697,727	6,697,021
減価償却累計額	△6,162,348	△6,243,896
機械装置及び運搬具 (純額)	535,378	453,124
工具、器具及び備品	1,129,501	1,146,989
減価償却累計額	△956,032	△989,422
工具、器具及び備品 (純額)	173,469	157,566
土地	2,613,507	2,598,880
建設仮勘定	5,214	46,962
有形固定資産合計	4,715,022	4,578,025
無形固定資産		
投資その他の資産	75,245	68,379
投資有価証券	1,180,229	1,416,074
繰延税金資産	97,503	53,061
その他	40,685	36,242
貸倒引当金	△15,771	△15,064
投資その他の資産合計	1,302,646	1,490,313
固定資産合計	6,092,914	6,136,719
資産合計	16,200,474	16,139,744

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	455,654	471,400
電子記録債務	643,194	622,781
未払金	244,976	167,175
未払費用	3,210	1,350
未払法人税等	3,619	41,275
賞与引当金	201,940	103,108
役員賞与引当金	14,500	21,000
その他	86,349	208,630
流動負債合計	1,653,444	1,636,721
固定負債		
役員退職慰労引当金	95,837	60,576
退職給付に係る負債	451,473	455,369
固定負債合計	547,311	515,946
負債合計	2,200,755	2,152,668
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,763,791	12,747,451
自己株式	△696,010	△696,010
株主資本合計	13,737,771	13,721,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,197	233,739
為替換算調整勘定	18,099	△1,273
退職給付に係る調整累計額	△758	△675
その他の包括利益累計額合計	227,538	231,789
非支配株主持分	34,408	33,854
純資産合計	13,999,718	13,987,075
負債純資産合計	16,200,474	16,139,744



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,399,644	5,329,584
売上原価	3,530,989	3,492,121
売上総利益	1,868,655	1,837,462
販売費及び一般管理費	1,569,016	1,539,455
営業利益	299,638	298,007
営業外収益		
受取利息	7,969	8,604
受取配当金	10,110	11,375
為替差益	—	7,935
受取ロイヤリティー	591	524
受取補償金	24,415	6,087
その他	8,880	8,155
営業外収益合計	51,967	42,681
営業外費用		
売上割引	9,931	9,000
為替差損	12,775	—
支払補償費	8,586	—
持分法による投資損失	3,411	5,007
その他	1,103	1,204
営業外費用合計	35,808	15,211
経常利益	315,797	325,476
特別利益		
固定資産売却益	2,499	11,607
特別利益合計	2,499	11,607
特別損失		
役員退職慰労金	35,056	28,507
固定資産売却損	421	—
固定資産除却損	3,579	7,432
特別損失合計	39,058	35,940
税金等調整前四半期純利益	279,239	301,144
法人税、住民税及び事業税	31,395	62,101
法人税等調整額	70,163	33,724
法人税等合計	101,559	95,826
四半期純利益	177,679	205,317
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,914	204,934
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,235	382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,678	23,542
為替換算調整勘定	1,469	△20,315
退職給付に係る調整額	△20	87
その他の包括利益合計	△90,229	3,313
四半期包括利益	87,449	208,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,516	209,185
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,066	△554

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	279,239	301,144
減価償却費	283,898	269,453
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,236	△707
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△128,034	△98,832
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,125	6,500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△38	4,983
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△41,447	△35,260
受取利息及び受取配当金	△18,080	△19,979
為替差損益 (△は益)	△5,711	△1,347
持分法による投資損益 (△は益)	3,411	5,007
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,078	△11,607
有形固定資産除却損	3,579	7,432
売上債権の増減額 (△は増加)	199,218	△26,864
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△233,006	120,054
仕入債務の増減額 (△は減少)	29,612	△3,862
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△91,455	178,515
未払金の増減額 (△は減少)	7,831	△74,727
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,213	△1,770
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△25,589	△13,325
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	57,461	56,410
その他	△50,469	△6,788
小計	264,239	654,429
利息及び配当金の受取額	17,613	20,812
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△346,146	29,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64,294	704,806
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,080,843	△3,771,245
定期預金の払戻による収入	4,576,355	3,781,007
投資有価証券の取得による支出	△7,973	△210,299
有価証券の償還による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△221,912	△150,255
有形固定資産の売却による収入	6,369	26,234
無形固定資産の取得による支出	△11,520	—
固定資産の除却による支出	△3,560	△2,910
貸付けによる支出	△955	△2,760
貸付金の回収による収入	932	481
投資活動によるキャッシュ・フロー	256,894	△29,749
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△291,828	—
配当金の支払額	△261,460	△221,402
非支配株主への配当金の支払額	△414	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,703	△221,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,532	△5,746
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△354,570	447,908
現金及び現金同等物の期首残高	1,831,331	1,247,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,476,760	1,695,244

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,587,808	811,836	5,399,644	—	5,399,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113,850	—	113,850	△113,850	—
計	4,701,658	811,836	5,513,494	△113,850	5,399,644
セグメント利益又は セグメント損失(△)	711,674	△15,006	696,668	△397,029	299,638

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△397,029千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,597,255	732,328	5,329,584	—	5,329,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	122,280	—	122,280	△122,280	—
計	4,719,536	732,328	5,451,864	△122,280	5,329,584
セグメント利益又は セグメント損失(△)	814,670	△75,464	739,206	△441,198	298,007

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△441,198千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。